

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果の公表

令和8年3月31日版 福島市都市政策部開発建築指導課

■耐震診断結果の総括表 福島市内

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

用途	該当施設数			地震(震度6強以上)に対する安全性			耐震化率
	計	所有者の区分		I	II	III	
		公共	民間	倒壊・崩壊の危険性が高い	倒壊・崩壊の危険性がある	倒壊・崩壊の危険性が低い	
				現行耐震基準未満(耐震改修等の努力義務あり)		現行耐震基準相当	
学校(小学校、中学校・中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校)	13	12	1			13	100.0%
劇場、観覧場、映画館、演芸場	1	1				1	100.0%
集会場、公会堂	2	2		1		1	50.0%
百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗	3		3			3	100.0%
ホテル、旅館	3	1	2			3	100.0%
保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物	1	1				1	100.0%
合計	23	17	6	1	0	22	95.7%

耐震診断の結果の公表【要緊急安全確認大規模建築物（福島市内）】

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、公表します。

令和8年3月31日現在

【学校（小学校・中学校・中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校）】

No.	市町村	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値) [※]	安全性の評価 (Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)
								内容	実施時期		
1	福島市	桜の聖母学院中学校・高等学校 A棟	福島市野田町七丁目11-1	中学・高等学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.02 (1.0) Ctu・Sd=0.54 (0.3)	Ⅲ	－	－	耐震診断目標値 Iso=0.7 (目標値) Ctu・Sd=0.3 (目標値) 高等学校部分あり	耐震改修済み 平成26年9月完了
		桜の聖母学院中学校・高等学校 B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.01 (1.0) Ctu・Sd=0.55 (0.3)	Ⅲ	－	－		
		桜の聖母学院中学校・高等学校 C棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.01 (1.0) Ctu・Sd=0.71 (0.3)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 平成26年9月完了
		桜の聖母学院中学校・高等学校 K棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.00 (1.0) Ctu・Sd=0.55 (0.3)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 平成26年9月完了
2	福島市	吾妻中学校	福島市町庭坂字原田8	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.21 (1.0) Ctu・Sd=0.74 (0.3)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 平成26年3月完了
		吾妻中学校 (木工・金工室)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is=1.92 (0.7) q=3.48 (1.0)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 平成26年3月完了
3	福島市	飯坂小学校 (南校舎)	福島市飯坂町字楼下1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.21 (1.0) Ctu・Sd=0.742(0.3)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 令和2年3月完了
		飯坂小学校 (東校舎)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.38 (1.0) Ctu・Sd=0.84 (0.3)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 令和2年3月完了
4	福島市	岡山小学校 (南校舎)	福島市山口字上中田43	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.19 (1.0) Ctu・Sd=0.72 (0.3)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 平成31年3月完了
5	福島市	北沢又小学校 (南校舎)	福島市北沢又字愛宕1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.20 (1.0) Ctu・Sd=0.73 (0.3)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 平成29年3月完了
		北沢又小学校 (北校舎)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.28 (1.0) Ctu・Sd=0.78 (0.3)	Ⅲ	－	－		
6	福島市	杉妻小学校 (南校舎)	福島市伏拝字沢口18	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.23 (1.0) Ctu・Sd=0.74 (0.3)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 平成23年3月完了
7	福島市	福島第一小学校 (北校舎)	福島市杉妻町1-24	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.21 (1.0) Ctu・Sd=0.74 (0.3)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 平成21年3月完了
8	福島市	西信中学校	福島市上名倉字道上6	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.85 (1.0) Ctu・Sd=1.15 (0.3)	Ⅲ	－	－	北校舎	耐震改修済み 令和2年3月完了
					一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.38 (1.0) Ctu・Sd=0.86 (0.3)	Ⅲ	－	－	南校舎	耐震改修済み 令和2年3月完了
9	福島市	平野中学校 (南校舎)	福島市飯坂町平野字館ノ前3-3	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.26 (1.0) Ctu・Sd=0.78 (0.3)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 平成28年3月完了

No.	市町村	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値) ※	安全性の評価(I, II, III)	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)
								内容	実施時期		
10	福島市	飯野中学校	福島市飯野町大字飯野字西志保井1-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.16 (1.0) Ctu・Sd=0.71 (0.3)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 平成24年3月完了
11	福島市	蓬萊中学校 (東校舎)	福島市蓬萊町五丁目14-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.2 (1.0) Ctu・Sd=0.75 (0.3)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 平成31年3月完了
12	福島市	松陵中学校	福島市松州町字上桜内3-4	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is=0.033—(0.6)— q=0.13—(1.0)—	Ⅰ	用途廃止予定	令和7年度	S造部分	用途廃止済み 令和7年4月
					一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=0.13—(1.0)— Ctu・Sd=0.39 (0.3)				RC造部分	用途廃止済み 令和7年4月
13	福島市	渡利小学校 (中校舎)	福島市渡利字八幡町120	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.20 (1.0) Ctu・Sd=0.73 (0.3)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 平成24年3月完了
		渡利小学校 (東校舎)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.35 (1.0) Ctu・Sd=0.83 (0.3)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 平成24年3月完了

【劇場、観覧場、映画館、演芸場】

No.	市町村	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値) ※	安全性の評価(I, II, III)	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)
								内容	実施時期		
1	福島市	福島県文化センター (大ホール)	福島市春日町5-54	観覧場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)	Is/Is0=1.22 (1.0) Ct・Sd=0.733 (0.3125)	Ⅲ	－	－	U=1.25 Iso=0.75 展示場部分あり	
		福島県文化センター (中央棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	Is/Is0=1.01 (1.0) Ctu・Sd=0.619 (0.35)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 平成24年9月完了
		福島県文化センター (小ホール・楽屋棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	Is/Is0=1.19 (1.0) Ct・Sd=0.908 (0.3)	Ⅲ	－	－		
		福島県文化センター (歴史資料館)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	Is/Is0=1.08 (1.0) Ctu・Sd=0.829 (0.375)	Ⅲ	－	－		耐震改修済み 平成24年9月完了

【集会場、公会堂】

No.	市町村	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)※	安全性の評価(I, II, III)	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)
								内容	実施時期		
1	福島市	福島市市民会館 本館	福島市霞町1-52	集会場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.115-(1.0)-C_{tu} \cdot S_d=0.326-(0.3)$	Ⅰ	用途廃止予定	令和6年度		用途廃止済み 令和7年1月
		福島市市民会館 第1ホール			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.704-(0.7)-C_{\tau}=1.28-(1.0)$	Ⅲ	—	—		用途廃止済み 令和7年1月
2	福島市	福島市公会堂	福島市松木町1-7	集会場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{s0}=0.03-(1.0)-C_{tu} \cdot S_d=0.221-(0.28)$	I	解体予定	令和12年度完了目標		「福島市公共施設の戦略的再編整備検討施設個別計画」に基づき複合化による再整備を検討
		中央学習センター	福島市松木町1-7		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.20-(1.0)-C_{tu} \cdot S_d=0.352-(0.3)$	I	解体予定	令和12年度完了目標		「福島市公共施設の戦略的再編整備検討施設個別計画」に基づき複合化による再整備を検討
		福島市立図書館	福島市松木町1-1		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.23-(1.0)-C_{tu} \cdot S_d=0.406-(0.3)$	I	再整備を検討	令和12年度完了目標		「福島市公共施設の戦略的再編整備検討施設個別計画」に基づき更新及び複合化も含めて再整備を検討

【百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗】

No.	市町村	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)※	安全性の評価(I, II, III)	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)
								内容	実施時期		
1	福島市	平和ビル	福島市栄町8-1	百貨店	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s=0.18-(0.6)-C_{\tau}=0.73-(1.0)$	Ⅰ	除却	令和4～5年度		除却済み 令和6年3月完了
2	福島市	辰巳屋ビル	福島市栄町5-1	百貨店	指針第1第三号に定める建築物の耐震診断の方法	$I_s=0.608-(0.6)-C_{\tau}=1.034-(1.0)$	Ⅲ	—	—	ホテル部分あり	除却済み 令和6年3月完了
3	福島市	AXCビル	福島市栄町11-25	物品販売業	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{s0}=1.016-(1.0)-C_{tu} \cdot S_d=0.50-(0.25)$	Ⅲ	—	—	ホテル部分、事務所部分等あり	耐震改修済み 令和元年6月完了

【ホテル、旅館】

No.	市町村	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)※	安全性の評価(I, II, III)	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)
								内容	実施時期		
1	福島市	飯坂ホテル聚楽 (1期棟)	福島市飯坂町西滝ノ町27	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s=0.105-(0.6)-q=0.35-(1.0)$	Ⅲ	-	-	S造部分	除却済み 令和2年1月完了
					一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.08-(1.0)$ $C_{tu} \cdot S_d=0.69-(0.3)$				RC造部分	耐震改修済み 令和2年1月完了
					一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{s0}=1.12-(1.0)$ $C_{tu} \cdot S_d=0.6-(0.28)$				SRC造部分	
		飯坂ホテル聚楽 (4期棟)	福島市飯坂町西滝ノ町27	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.00-(1.0)$ $C_{tu} \cdot S_d=0.61-(0.3)$	Ⅲ	-	-		耐震改修済み 令和2年1月完了
2	福島市	福島リッチホテル	福島市栄町2-36	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.68-(1.0)-C_{tu} \cdot S_d=0.364-(0.3)$	Ⅱ	除却	令和6年度	RC造部分	除却済み 令和6年8月
					一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{s0}=0.58-(1.0)-C_{tu} \cdot S_d=0.384-(0.28)$				SRC造部分	
3	福島市	杉妻会館	福島市杉妻町3-45	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.14-(1.0)$ $C_{tu} \cdot S_d=0.529-(0.3)$	Ⅲ	-	-		

【保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物】

No.	市町村	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)※	安全性の評価(I, II, III)	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)
								内容	実施時期		
1	福島市	福島県警察本部福島運転免許センター	福島市町庭坂字大原1-1	その他これらに類する公益上必要な建築物	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.03-(1.0)$ $C_{tu} \cdot S_d=0.625-(0.3)$	Ⅲ	-	-		耐震改修済み 平成27年3月完了

※1 それぞれの値が 評価値≧(目標値)となる場合、下表Ⅲ(地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)に相当します。

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上の主要な部分の地震に対する安全性の評価

震度 6 強から 7 に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度 5 強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずる可能性は低く、倒壊するおそれはない。

耐震診断の方法の名称		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い	II 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険がある	III 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（1990 年版）		$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$ $1.25 < C_T \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2001 年版）		$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2009 年版）	鉄骨が充腹材の場合	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
	鉄骨が非充腹材の場合	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996 年版、2011 年版）		$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$
「屋内運動場等の耐震性能診断基準」		$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$